

北海道医療新聞

2月12日
2016年・2114号

毎週金曜日発行
年間購読料19,500円
(前納/税込)

発行所

株式会社北海道医療新聞社

〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目
(北海道医師会館)

TEL 011(221)7777

www.medim.co.jp

「学内外の医学研究におけるハブになるのが、研究所全員の願い。そのためには、各研究室が非常に高いレベルにないければならない」。医学部



や病院のみならず、薬学部や理学部、歯学部、獣医学部などとの連携を強化する中、特に医学部との関係を重視し、「臨床

北大遺伝子病制御研究所所長に4月就任する

村上 正晃氏



系教室と協力して、基礎研究を臨床に還元していくのが大切」と力を込める。研究所は現在、感染・

がん・炎症・免疫をメー
ンに、2人の教授が新学
術領域研究代表者を務め
るほか、若手の活躍も目
覚ましい。3月7日には
フラテホールで、学内外
の第一線の研究者を招き
「生体防御システムと

内外の医学研究ハブに

その破綻」と題した部局横断シンポジウムを企画しており、札幌大や旭医大などにも参加を広く呼び掛ける。「学術交流を通じて研究所がさらに活性化し、融合的研究の中から世界的に突き抜けた新しいコンセプトも出てくるだろう」と期待する。2014年に「古巣」へ15年ぶりに戻ってから2年足らず。自身が追究する炎症回路やゲートウェイ反射で成果を次々上げており、新たな発見についての論文も近く公表予定という。分子神経免疫学分野教授。

した際に、客室乗務員が「つける。国内航空会社で
直営、客室乗務員が「つける。国内航空会社で